



やまぐちけん

山口県

たぶんかきょうせい

多文化共生

すいしんししん

推進指針

やまぐちけん く にほんじん がいこくじん
~山口県で暮らす日本人と外国人が

とも かつやく ちいきしゃかい じつげん む
共に活躍できる地域社会の実現に向けて~

れいわ ねん ねん がつ
令和5年(2023年)12月

やまぐちけん
山口県

し しん が い よ う 指針の概要

さく てい しゅ し 策定の趣旨

やまぐちけん く がいこくじん ふ たぶんかきょうせい ちいき じゅうよう
山口県で暮らす外国人が増えていて、「多文化共生※による地域づくり」が重要です。

やまぐちけん じんこう へ か こくさいてき してん せんもんてき ちしき
また、山口県の人口が減っていること、グローバル化などによって、国際的な視点や専門的な知識
も がいこくじん う い いじょう じゅうよう
などを持った外国人を受け入れていくことが、これまで以上に重要です。

やまぐちけん こんかいあら やまぐちけんたぶんかきょうせいすいしんしん
山口県では、今回新たに「山口県多文化共生推進指針」をつくりました。
やまぐちけん やまぐちけん し ちょう れんけい やまぐちけんみん いっしょ たぶんかきょうせい と く
山口県と、山口県の市や町などが連携し、山口県民と一緒に、多文化共生に取り組みます。

たぶんかきょうせい こくせき 民族など の異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を
※多文化共生とは… 築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと

しゅうてん そうむしょう たぶんかきょうせい すいしん かん けんきゅうかいほうこくしょ
出典：総務省 多文化共生の推進に関する研究会報告書より



りゅうがくせい ちいきじゅうみん さんか のうこうぶんかたいけん ようす こくさいこうりゅう かぜ かい
留学生などが地域住民とともに参加した農耕文化体験の様子（国際交流ひらかわの風の会）

し しん い ち 指針の位置づけ

し しん やまぐちけん たぶんかきょうせい ちいき かんが かつ た き
この指針は、山口県の「多文化共生による地域づくり」の考え方を決めています。
やまぐちけん し ちょう かんけいきかん いっしょ と り すす ほうこうせい しめ
また、山口県の市・町・関係機関などと一緒に取り組みを進めるための方向性を示します。

し しん けい かく き かん 指針の計画期間

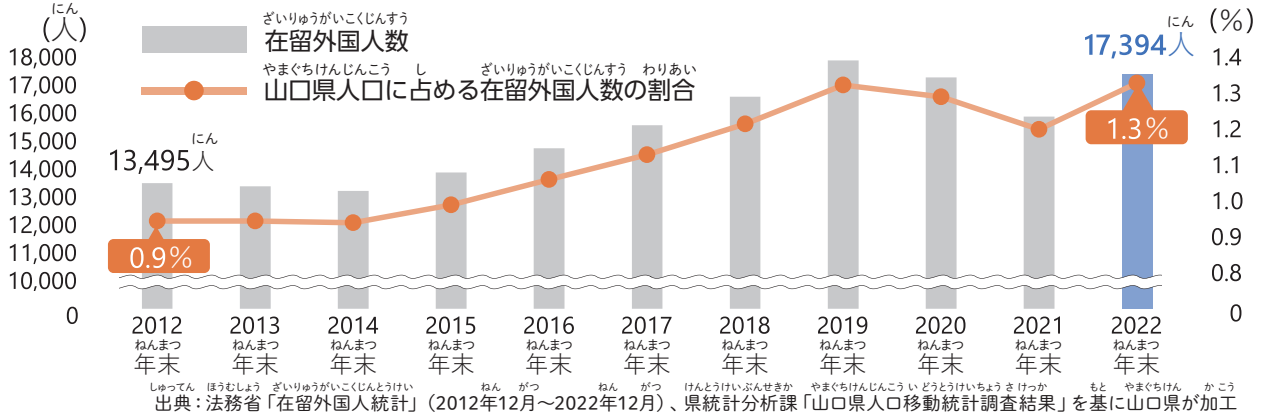
ねんど ねんど ねんかん
2023年度から2026年度までの4年間です。

けん げんじょう か だい 県の現状と課題

やまぐちけん がいこくじん じょうきょう 山口県の外国人の状況

やまぐちけん がいこくじん ふ
山口県の外国人が増えてきています。

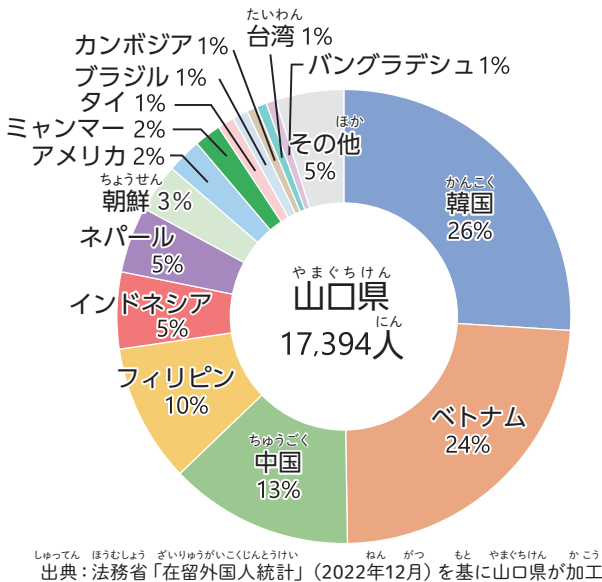
また、外国人は、10年前と比べて、0.9% (2012年12月) から1.3% (2022年12月) に増えています。



こくせき ち いき べつ じょうきょう 国籍・地域別の状況

やまぐちけん かんこく ちゅうごく
山口県では、韓国、ベトナム、中国、フィリピン、
インドネシア、ネパールの国の人が多いです。

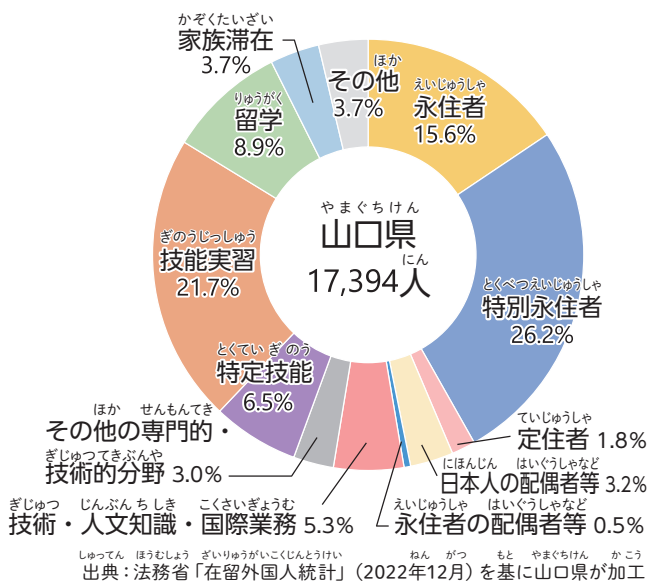
また、国の数は、10年前の82から98へ増えています。



ざいりゅう し かく べつ じょうきょう 在留資格別の状況

やまぐちけん とくべつえいじゅうしゃ いちばんおほ ぎのうじつ
山口県では、特別永住者が一番多く、技能実
習、永住者も多くなっています。

えいじゅうしゃ ぎじゆつ じんぶんちしき こくさいぎょうむ なが
永住者や技術・人文知識・国際業務など、長く
暮らすことが出来る在留資格の人が増えています。



やまぐちけん とくちょう か だい 山口県の特徴と課題

ぎのうじつしゅう おお 技能実習が多い

- 「技能実習」が、全国と比べて多いです。(山口県: 21.7% 全国: 10.6%)
- これからは、技能実習から特定技能になる人が多くなるといわれています。

せんもんてき ぎじゆつてき ぶん や すく 専門的・技術的分野は少ない

- 専門的・技術的分野は、少なくなっています。(山口県: 8.3% 全国: 14.7%)
- 長く暮らしたいと考える人を山口県に受け入れるための準備が必要です。

がいこくじん 外国人がいろいろなところで暮らしている

- 外国人が、山口県のいろいろなところで暮らしています。また、関係機関等が少なく、もっと増やす必要があります。
- 外国人の希望を聞き、山口県や県内の市町、関係機関などが一緒にいろいろな取組を行うことがとても重要です。

基本的な考え方

基本理念

山口県がめざす多文化共生社会の姿として、基本の理念（考え方）を決めます。

日本人と外国人が、お互いを尊重しながら、
共に地域を創る一員として活躍することで、
全ての県民が豊かに安心して暮らすことができる山口県

基本方針

基本の方針は3つです。

基本方針1

円滑なコミュニケーションができる地域づくり

日本人と外国人とが円滑にコミュニケーションができる地域をつくれます。
お互いのことを大切にし、理解をすることで、一緒に生きていくことができる地域をつくれます。

基本方針2

誰もが豊かに安心して暮らし続けることができる地域づくり

外国人が生活などのいろいろな場面で困ることがないように、相談や支援ができるようにします。
誰もが豊かさを感じながら、安全に安心して生活を続けることができる地域をつくれます。

基本方針3

日本人と外国人が共に活躍できる地域づくり

日本人と外国人を含む全ての県民が社会に参加して、自分の力を生かして活躍することで、一緒に元氣な地域をつくれます。

施策の推進

取組が必要な分野と施策の方向性

円滑なコミュニケーションができる地域づくり

1 生活のために必要な日本語教育を充実する

外国人が、生活に困ることがないように、日本語を学ぶ機会を増やします。
また、地域の日本語教室が、日本人と外国人が交流し、お互いの理解を深める場所となるように取り組みます。

- 日本語を学ぶことができる機会をつくります
- 日本語教室を日本人と外国人がお互いに交流できる場所にします
- 日本語教育を進める体制をつくります



地域日本語教室の様子（ながと日本語クラブ）

2 「やさしい日本語」を多くの人に理解してもらおう

「やさしい日本語」について、多くの日本人に理解してもらい、円滑にコミュニケーションができるようにします。

- 「やさしい日本語」を多くの人に広めます
- 役所などの情報を「やさしい日本語」で伝えます



やさしい日本語の例

3 多文化共生の意識をつくり、お互いに理解しあう

多文化共生の大切さをたくさんの人に伝えます。
外国人への偏った見方や差別をなくす取組を進めます。
お互いに交流することができる場づくりを進めます。

- 多文化共生の大切さをたくさんの人に知らせます
- 多文化共生の大切さを伝える場を増やします



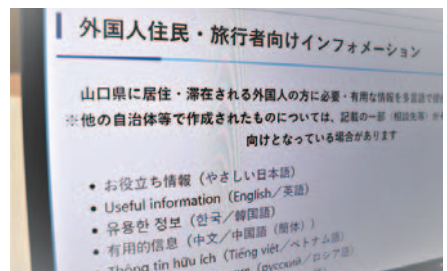
多文化共生推進リーダー育成講座の様子（山口市）

誰もが豊かに安心して暮らし続けることができる地域づくり

4 多言語で情報を伝える

全ての外国人が必要な行政サービスを受けることができるように、役所の情報（生活に必要な情報など）を多言語で伝えます。

- いろいろな言語での情報を増やし、効果的に発信します
- 役所の窓口が、いろいろな言語に対応できるようにします
- 生活のためのオリエンテーションなどを行います



外国人住民向けインフォメーション（山口県）

5 相談体制を充実する

がいくじん がいくじん がか にほんじん せいかつ
外国人や外国人に関わる日本人が、生活のいろいろなことについて、多言語で相談ができる場所をつくりま

■相談の窓口を運営し、多くの人に知ってもらいます

■関係機関との協力を進めます



がいくじん そうごう そうだん やまぐちけん
やまぐち外国人総合相談センター（山口県）

6 外国人が働きやすい環境をつくる

がいくじん う い きぎょう ひつよう しえん おこな
外国人を受け入れる企業に必要な支援を行います。
はたら がいくじん そうだん ぼしよ じゅうじつ かん
働く外国人が相談できる場所を充実するなど、働きやすい環

■外国人を雇う企業に対する支援などを行います

■働くことについての相談サポートを充実させます

■働くことについての日本語を学ぶ支援をします



がいくじんざいごう やまぐちけん
外国人材雇用アドバイザー（山口県）

7 災害・防災に関する取組を充実する

がいくじん ふだん さいがい ぼうさい し
外国人が、普段から、災害や防災のことを知ることができるようにします。

さいがい
災害のときに、外国人に情報がきちんと伝わり、避難ができるようにします。

■防災の知識を広めます

■災害の時の情報を確実に伝えます

■避難した外国人に情報などを伝えて支援します



たげんご か ぼうさい やまぐちけん
多言語化された防災ハンドブック（山口県）

8 外国人児童生徒等の教育機会を充実する

にほんご しどう ひつよう こ ふ
日本語指導が必要な子どもが増えています。
がいくじん じどうせいとなど きょういく う
外国人児童生徒等が教育を受けることができるようにして、
にゅうがく しんがく しえん
入学や進学の支援をします。

■教育の充実の支援を行います

■入学や進学の支援を行います

■多文化共生の考え方に基づいた教育を進めます



じゅうぎょう ようす
オンライン授業の様子
©YuichiMori/YSCグローバル・スクール

9 生活（医療・保健・子育て・福祉・住宅）に関する支援を充実する

せいかつ ひつよう やくしょ いりよう ほけん こそだ ふくし
生活に必要な役所のサービス（医療・保健・子育て・福祉・
じゅうたく
住宅など）を受けることができるよう、いろいろな言語への対応などを進めます。

■安心して医療・保健のサービスを受けることができるようにします

■安心して子育てができ、福祉支援が受けられることができるようにします

■住宅を借りるときや住むときの支援を行います



びょういんゆびさ えいかいわ やまぐちだいがく
病院指差し英会話カード（山口大学）

にほんじん がいこくじん とも かつやく ちいき
日本人と外国人が共に活躍できる地域づくり

がいこくじんざい けんない きぎょう ていちやく すす
10 外国人材の県内企業への定着を進める

やまぐちけん せんもんてき きぎゆつてき ぶんや ぎじゆつ じんぶん ちしき こくさいぎやうむ など
山口県が、専門的・技術的分野（「技術・人文知識・国際業務」等）
や特定技能などの外国人から選ばれるように、受入れや定着を進
めます。

- 働く外国人の受入れ体制を整備します
- 県内企業への定着を支援します



がいこくじんざい かつやく けいす
外国人材が活躍している様子

りゅうがくせい けんない きぎょう しゅうしょく ていちやく すす
11 留学生などの県内企業への就職・定着を進める

りゅうがくせい やまぐちけん きぎょう しゅうしょく けんない ていちやく かつやく
留学生が、山口県の企業に就職して、県内で定着・活躍できる
ように取り組みます。

- 留学生の受入れを拡げます
- 留学生が県内で長く働くための支援をします



りゅうがくせいむ ぎやうかいけんきゆう やまぐちけん
留学生向け業界研究フェア（山口県）

がいこくじん ちいき こうりゆう かつやく しゃかい さんか すす
12 外国人の地域での交流や活躍、社会への参加を進める

がいこくじん ちいき こうりゆう にほんじん いっしょ かつやく ちいき
外国人が地域で交流し、日本人と一緒に活躍できる地域をつ
くれます。

がいこくじん しゃかいさんか とく げんき ちいき いっしょ
外国人の社会参加に取り組み、いつまでも元気な地域を一緒
につくります。

- 地域での交流を進めます
- 外国人の地域への参加、社会への参加を支援します
- 地域を引っ張っていく外国人の発掘や定着を進めます



どうぶつ とうす
わくわく動物ワールドツアーの様子
(周南市国際交流サロン運営委員会)

おも しひょう
主な指標

しひょう 指標	げんじょう 現状	もくひょう 目標 (2026年)
がいこくじん うけい きやうせい すいしん じゅうよう おも ひと にほんじん わりあい 外国人の受入れ・共生を推進することについて、重要だと思う人（日本人）の割合	82%	90%
なん さべつ けいけん こた ひと わりあい 何らかの差別を経験したことがあると答えた人の割合	42.4%	0%
さいがい そな とく なに じゅんび こた ひと わりあい 災害のための備えについて特に何も準備していないと答えた人の割合	38.1%	0%
にほんご しどう ひつよう じどうせいと しどう う ひと わりあい 日本語指導が必要な児童生徒で指導を受けている人の割合	93.3%	100%
びやういん りよう とく こま こた ひと わりあい 病院の利用で特に困ったことがないと答えた人の割合	48.8%	60%
せんもんてき きぎゆつてきぶんや ざいりゅうしやく にんずう の りつ の りつ ひかく 専門的・技術的分野の在留資格の人数の伸び率（R4.12からの伸び率を比較）	—	ぜんこくへいきん おお 全国平均より多い

すいしん たいせい 推進の体制

とりくみ すす かつ 取組の進め方

やまぐちけん けんない し ちょう かんけいき かん いっしょ とりくみ すす
山口県のほか、県内の市・町・関係機関などが一緒に取組を進めます。

また、^{やまぐちけん たぶんか きょうせいすいしんきょうかい}「山口県多文化共生推進協議会」をつくって、^{とりくみ すす}取組が進んでいるかどうか^{かくにん}確認します。

やくわり 役割

やまぐちけん 【山口県】

- ^{やまぐちけん し ちょう かんけいき かん いっしょ たぶんかきょうせい いしき ひろ}山口県の市や町、関係機関と一緒に、多文化共生の意識を広めていきます。
- ^{ししん とりくみ すす}この指針によって取組を進めます。また、それぞれの取組が進んでいるかどうか^{かくにん}を確認します。
- ^{やまぐちけん し ちょう たい ひつよう しえん おこな とりくみ すす}山口県の市や町に対して、必要な支援を行って、取組を進めます。

やまぐちけん し ちょう 【山口県の市・町】

- ^{がいこくじん もつと みちか やくしょ とりくみ すす}外国人に最も身近な役所として、取組を進めます。
- ^{ちいき じょうきょう おう たぶんかきょうせい すいしん かん ししん けいかく つく}地域の状況に応じて、多文化共生の推進に関する指針・計画を作ります。
- ^{ちいき がいこくじん く じょうきょう がいこくじん もと とりくみ すす}地域の外国人が暮らしている状況や、外国人のニーズを基に、取組を進めます。

やまぐちけんこくさいこうりゅうきょうかい 【山口県国際交流協会】

- ^{やまぐちけん やまぐちけん し ちょう ほか かんけいき かん いっしょ たぶんかきょうせい すす}山口県、山口県の市や町、他の関係機関と一緒に、多文化共生を進めます。

きぎょう 【企業】

- ^{がいこくじん ろうどうしゃ あんしん なが はたら じんけん ろうどうかんけいほうれい まも せい}外国人労働者が安心して長く働くことができるように、人権や労働関係法令を守ること、^{かつ}生活のサポートの充実、^{じゅうじつ にほんご まな き かい ていきょう きたい}日本語を学ぶ機会の提供などが期待されます。

かんけいき かん かんけいだんたい だいがく がっこうなど 【関係機関、関係団体、大学や学校等】

- ^{やまぐちけん やまぐちけん し ちょう やまぐちけんこくさいこうりゅうきょうかい きぎょう ちいき れんけい たぶんかきょうせい}山口県、山口県の市や町、山口県国際交流協会、企業、地域などと連携して、多文化共生の^{とりくみ すす}取組を進めることが期待されます。

やまぐちけんみん 【山口県民】

- ^{きぎょう がっこう ちいき さまざま がいこくじん こうりゅう つう たが ぶんかてき みと あ}企業や学校、地域など、様々な外国人との交流を通じて、お互いの文化的ちがいを認め合いながら、^{たが りかい たいせつ あ きたい}お互いを理解し、大切にしようことが期待されます。
- ^{がいこくじん ちいき こうりゅう かつやく しゃかい さんか すす かお み かんけいせい たが}外国人の地域での交流や活躍、社会への参加が進むよう、顔の見える関係性づくり、お互い^{じゅうみん たす あ ちいき おこな きたい}が住民として助け合う地域づくりを行うことが期待されます。

ねん がつ
2023年12月

やまぐちけんかんこう ぶんか ぶ こくさいか
山口県観光スポーツ文化国際課

〒753-8501 山口県山口市滝町1番1号

TEL 083-933-2340 FAX 083-933-2358



自治体国際化協会

このパンフレットは、
いっばんざいだんほうじんじちたいこくさいかきょうかい じよせい う さくせい
一般財団法人自治体国際化協会の助成を受けて作成しました。